

施設紹介

Information of Facilities



研究棟

- 化学実験室
- 材料実験室
- 電子顕微鏡室
- 情報研究室
- 通信実験室
- 事務室
- 研究員居室
- 図書室
- 中央監視室

アトリウム棟

- 展示コーナー
- ロビー
- コンベンションホール

実験棟

- エネルギー利用実験室
- 熱環境実験室
- 住宅環境実験室
- 水理実験室
- 土木大実験室
- 配合試験室
- 生物環境実験室
- 電気室
- 機械室

屋外

- 1 屋外実験ヤード
- 2 植物栽培ハウス
- 3 スマートエネルギー実験住宅



乾式脱硫性能評価装置



水理実験室



S E M 室



屋内ドローン飛行試験

アクセス

Access

- 電車で** 【JR 函館本線】
■ 「JR 江別駅」下車 車（タクシー）で約 5 分、徒歩 25 分

- バスで** 【北海道中央バス】
■ 新さっぽろ駅から「5、55、60 江別・新さっぽろ線」
「新さっぽろ」→「第 3 中学校」下車 徒歩約 10 分
■ 江別駅から
「江別駅前」→「第 1 小学校前」下車 徒歩約 10 分

- お車で** 【札幌方面から】
■ 道央自動車道 江別西インターから約 10 分

- 【新札幌方面から】
■ 国道 12 号線を江別方面に直進、公園通を左折（約 5 分）



北海道の未来のために

For the future in Hokkaido



北海道電力株式会社 総合研究所

Research & Development Department Hokkaido Electric Power Co., Inc.

〒067-0033 北海道江別市対雁 2 番地の 1

TEL.011-385-6553 FAX.011-385-6710

<https://www.hepco.co.jp/corporate/research/index.html>

地域社会の持続的な発展を目指して 時代を先取りする研究開発に果敢に挑んでいます

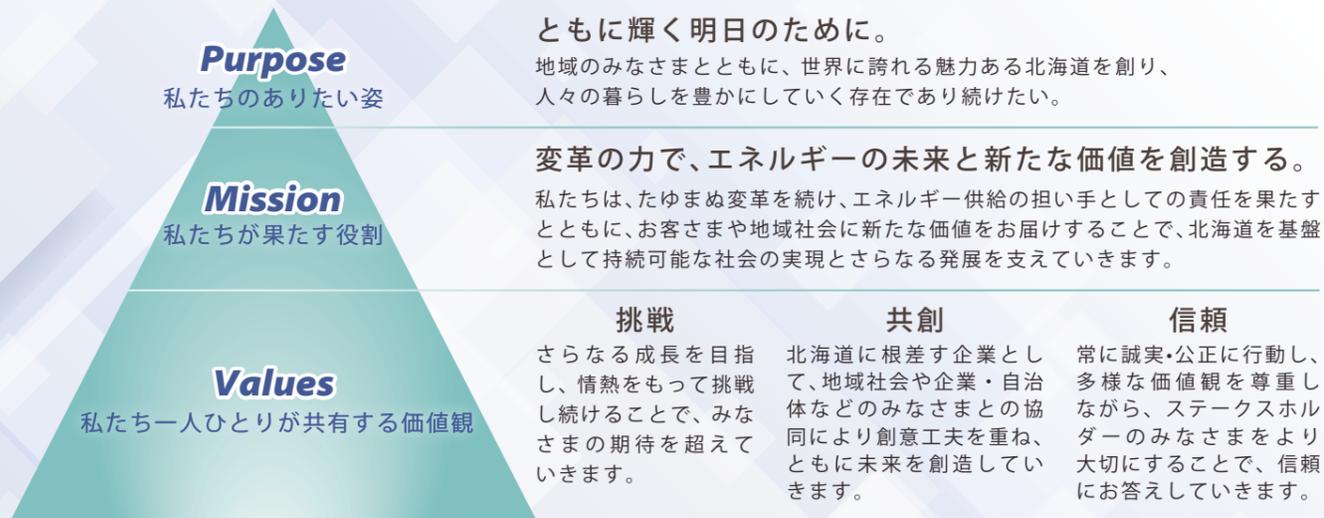
ほくでん総合研究所は、電力会社としての基盤である、発電・通信・販売部門に加えて、カーボンニュートラルや北海道の課題解決を目指す研究分野を設定し、時代の変化を先取りする研究開発に全力でチャレンジします。

沿革		
1947年 1月	北海道配電(株)技術研究所(発足)	
1951年 5月	北海道電力(株)設立 技術研究所を承継	
1960年 12月	札幌市苗穂に移転	
1974年 6月	札幌市里塚(現 美しが丘)に移転	
1987年 2月	総合研究所に改組・改称	
1996年 6月	江別市対雁に移転(現在)	

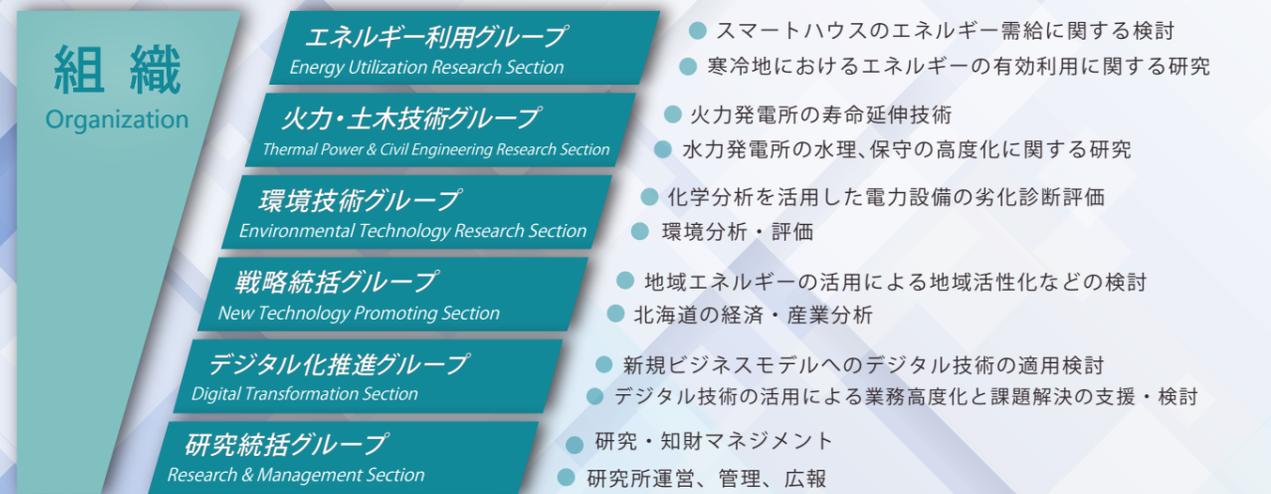
北海道電力の経営理念と総合研究所の使命

Corporate Vision & Our Mission

経営環境が絶えず変化するなかにおいても、ほくでんグループのさらなる事業成長と持続可能な社会の実現に向けて、私たちは変革を続け、北海道を基盤とした経営を進めていきます。



総合研究所は、調査・研究開発を通じてイノベーションを創出し、「新たな事業の開拓」および「ほくでんグループの持続的な成長」と「地域の発展」に貢献します。



将来に向けて重点的に取り組む調査・研究開発

Priority Research Areas



地域共創
カーボンニュートラル

- ▶ 効率的なエネルギー利用技術の促進
 - スマートグリッド技術やエネマネシステムの開発
 - 建物、一次産業、輸送分野のエネルギーの効率的利用
- ▶ 持続可能なエネルギー源の導入推進
 - 脱炭素燃料への移行
 - 大容量エネルギー貯蔵技術の追及
- ▶ カーボンリサイクル技術の実用化
 - CO2回収および有用な製品への変換
- ▶ 持続可能な地域作りの推進
 - 地域と連携した脱炭素施策の推進

既存領域

- ▶ 電気事業の生産性・付加価値向上
 - 発電所土木設備の水理設計最適化
 - 発電・通信設備の保守高度化・省力化支援
 - 発電・通信設備の高経年化、対策の構築など

共通

- DX等関連技術調査・活用・展開
- 市場調査、地域分析
- カーボンニュートラルに向けたシナリオ分析

知的財産 — 保有特許事例 —

Intellectual Property

当社が保有する技術や研究成果などの知的財産は、「事業活動の維持」、「新規事業展開」、「知的財産による収益獲得」など当社事業の維持・発展に重要な資産となります。

そこで、当社では、知的財産の適切な保護、権利侵害の回避、社員の意識向上を基本方針として、当社単独に限らず、社外と連携しながら、知的財産権の取得と活用に取り組んでいます。

馬鈴薯緑化防止用照明装置「ポテライト」

馬鈴薯の緑化を防ぎ作業環境も改善

馬鈴薯の生産量日本一の北海道には大型貯蔵庫が多数ありますが、馬鈴薯は照明用の弱い灯りでも容易に緑化し食中毒の原因物質が増加することから、貯蔵庫内は暗く保たれています。このため、庫内作業の安全性などが懸念されていました。ポテライトは当社が保有する知見をもとに開発、明るい環境下でも馬鈴薯の緑化防止を実現しました。

